

中村 アルテオンは、4WDシステム「4MOTION」がすごいんです。平地では限りなく2WDに近い走りなのに、山道など4WDが良い場所に入った時に切り替えるスピードがものすごく速い。レスポンスがものすごくよくて、高速道路を4WDで走ると直進安定性が出ますし、ワインディングの山道では路面に食いつくようにして曲がる。ブレーキの効きもすくなくいい。「車が走る」という点で、アルテオンはまったく不満のない車です。



カタログに載らない安全哲学
中村 安全性への追求も全車種変わりません。例えばVWのドアハンドルは昔から全て握るタイプ。フラップタイプの方がデザイン的には美しいのですが、万一の事故の時、閉じ込められた人を外から救出しやすい形状だからです。また、リアドア前側の鉄板がフロントドア側へ少しだけ前に出ています。ドアが閉まった状態で事故を起こすと、衝撃でフロントドアの端がリアドアの中に入ってしまう、ドアが開けられないんですね。このわずかにセンチなのでつばりを作ることで、フロント



ボディに関しては、あまり表に出てないことが他にもいろいろあります。例えば、ほとんどの車には天井に飾りモールがありますが、VWには一切ついていません。天井だから飾る必要はないのですが、つける理由があるんです。天井の鉄板と側面を溶接する際に、あのモールがあるクルマは、「部分留め（スポット溶接）」なんです。その跡が見えないように隠しているわけです。VWは切れ目ない溶接（レーザー溶接）をしているので、隠す必要がありません。点で留めていると、ギョッと力をかけると、留まっていなくて、口が開きますね。それだけ強度が低い。切れ目ない溶接なら開かない、ということ、室内が守られるということなんです。

中村 今のメーカーもエンブレムが大きいでしょう。VWは昔からけっこう大きいんです。エンブレムをド



追及し続けるのは、「安全は全てに優先する」こと。

伝統あるハッチバックから、渾身のスポーツセダンまで、幅広い表情を持つフォルクスワーゲン。

販売台数が世界トップを走り続けるフォルクスワーゲン。どんなタイプの車でも、安全性を追求するひたむきな姿勢は変わりません。そんなフォルクスワーゲンの魅力を、20年にわたり販売に携わってきたディーラー関岡さんと、ベテランメカニックの中村さんに語っていただきました。



「ハッチバックの王様」、ゴルフ。

関岡 まずはゴルフですね。フォルクスワーゲン（以下VW）の看板車種であると同時に、ハッチバックという形状の元祖となった車です。長い時間をかけてこの形に仕上がってきた、完成度が高い車です。

中村 ハッチバックはゴルフと言ってもいい。このメーカーも、ゴルフをベンチマークにしてこのタイプの車を開発すると言われるほどですからね。

関岡 ゴルフは、この車種の進化を牽引してきた、まさに「ハッチバックの王様」と言えるでしょう。

デザインコンセプトは、「変わらぬ」飽きなさ」。

関岡 エクステリアで、初代からフロントグリルが横一直線というデザインはほぼ変わりません。モデルチェンジしてもすぐ「ゴルフ」だとわかる。遠目に見て、今のゴルフが昔のゴルフが一瞬わからないくらい、不変のデザインです。インテリアは「シンプルに、飽きないように」がコンセプト。視界に入ってくる情報が少ないことでストレスを減らしているの、長時間運転しても疲れにくいです。

それと、荷室について。よくお客様さまにお話しするんですが……実は、ゴルフなのにゴルフバッグは横向きに積みません（笑）。

中村 ホールベースを確保して走行安定性を高めているので、どうしてもタイヤハウスが荷室の部分にくるんです。

「基準」にして最先端。

関岡 一方で液晶メーターをこの価格帯で採用している車はまずないと思います。様々な最先端の装備について、VWはゴルフに最初に採用してから他の車種に搭載していくんですね。まさに、「VWの「基準」となる車です。」

「誰もが気負わず普段着で、『普通に』乗れる」ということが、高いレベルで完成しているのがゴルフの最大の特長。だから、ゴルフは本当にどんなお客様にも薦められる車なんです。



走りにおいて、すべてに満足できる車。」「アルテオン」

関岡 そしてアルテオン。ずっとVWに携わってきた人間からすると、かなり特徴的かつカッコいい車で、僕たちもすごく新鮮な気持ちで販売しています。以前、パサートという車種にCCという4ドアクーペがあったんですが、知名度がすごく低かったんです。とっても良い車だったんですが……この車を新しい名前でも……からリリースしようとした。VWが本気でかっくよく作ろうとした車ですね。

イッ語では「ワッペングリル」と呼びます。「ワッペン」には「身を守る盾」という意味合いも含まれていて、楯を前と後ろにつけることで、乗っているあなたを守りますよ、との思いで造られているという話もあります。

関岡 「車より乗る人の人生のほうが大事」という、VWの哲学の象徴と見ています。